



# 広報古河

# ができるまで



## 声の広報を知っていますか？



目が不自由な人へ広報を届けるため、音訳ボランティアの協力の下「声の広報」を発行しています。市ホームページで配信していますので、ぜひ、聞いてみてください。



左の2次元コードから聞かれます！

※一緒に活動する仲間を募集しています。音訳が初めての人も大歓迎です。☎シティプロモーション課まで問い合わせください。

## コンビニ・スーパーでも配布中

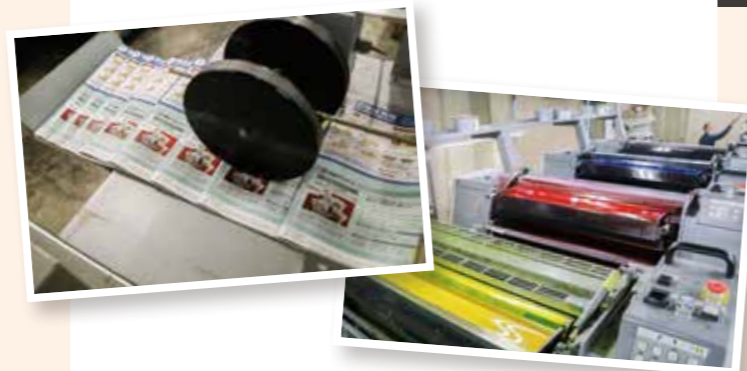
広報紙をより身近な場所で手に取ることができるよう、市内54カ所のコンビニエンスストアやスーパーマーケットに「広報古河」を設置しています。



市内の設置場所一覧はこちら！

## STEP 5 印刷製本

校了すると、いよいよ印刷です。現在、広報古河は市内の印刷会社で毎月47,100部印刷しています。校了データから版を起し、印刷、製本、仕分けを8日間かけて行います。



## STEP 4 入稿～校了

校正刷りに朱書きで訂正を入れていきます



完成した紙面データを印刷会社に入稿。後日、印刷会社から納品された校正刷りを課内で確認し、誤字脱字や内容を見直し、体裁を整えていきます。

3回に渡って校正を行い、最終的に校了となります。

## START 1 編集会議

発行日の2カ月前に編集会議を開き、今、市民の皆さんに伝えたいことや興味を持ってもらえるものは何かを話し合います。また、特集の内容を何ページで取り上げるか、誰を取材するのかなどを決め、大まかなレイアウトを作成していきます。



## GOAL 6 配送

広報紙が手元に届くまでには、多くの人の協力があります

広報紙は、運送会社によってそれぞれの自治会館や施設などに配送されます。各自治会・行政区で班ごとに仕分けられた後、各家庭に届けられます。



これからも広報古河を

よろしくお願いいたします！

FINISH

## STEP 3 レイアウト作成・編集

Photoshopで画像の補正や加工、Illustratorでイラストの作成も行います



デザインレイアウト担当者と職員がAdobe社のInDesignというソフトウェアを使用して紙面を作成していきます。文字の配置や画像の大きさ、誰もが見やすく分かりやすい紙面になるよう常に心掛けています。

## STEP 2 取材撮影

大まかなレイアウトが決まると、現場に出て、紙面で使う写真の撮影や対象者の取材を行います。広報紙で使う写真は、そのほとんどを職員自ら撮影。取材も交渉から原稿の作成まで行っています。



撮影に使用しているカメラ